

エボニック、AIを活用したイノベーションの加速を目指し 化学会社として初めて MIT-IBM Watson AI ラボへ参加

2021年4月20日

- ・ エボニック、IBM リサーチ、米大学 MIT が AI の産業応用の可能性を探求
- ・ エボニックは研究プログラムのアドバイザリーボードに参加
- ・ IBM との戦略的パートナーシップを予定より早く延長決定

本件に関するお問合せ
エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン)は、デジタル化における IBM との協力関係を拡大します。両社は、戦略的パートナーシップを前倒して 2025 年まで延長することを決定しました。この決定を早めに行うことで、より多くの長期的なプロジェクトの機会を生み出すことができます。

エボニックは、マサチューセッツ工科大学(MIT)で行われている人工知能(AI)の研究・開発に参加し、化学会社として初めて MIT-IBM Watson AI ラボに参加することとなります。

マサチューセッツ州ケンブリッジの MIT キャンパスで行われているこのユニークな連携プロジェクトにおいて、産学界の専門家が AI の潜在能力と効果について調査を進めています。エボニックのチーフ・デジタル・オフィサー(CDO)ヘンリック・ハーン(Henrik Hahn)は、「サイエンスおよび産業界の優秀な人材が、デジタル技術の進歩に向けて力を合わせています。私たちがその一翼を担えることを嬉しく思います」と述べています。

AIは、化学業界におけるイノベーションと改善に有用なツールであることから、エボニックは MIT-IBM Watson AI ラボのプロジェクトに参加し、特に化学業界における AI の応用の可能性を検討しています。材料開発、配合技術、ナレッジマネジメント、市場分析などの分野で、独自のアイデアや用途を提供し、その成果を活用しています。エボニックは、MIT-IBM Watson AI ラボのアドバイザリーボードに席を置くことで、研究の優先順位について発言することができます。「AI の研究は、デジタルシステムで可能なことを判定するリトマス試験のようなものです。例えば、アルゴリズムを利用して、意思決定をより良く、より体系的に、より速く行う方法を調べています。究極的には、AI がエボニックに与えることができる価値について探求していきます」とハーン(Hahn)はコメントしています。

また、すでに 2017 年から活動を続けている IBM との戦略的パートナーシップに対し肯定的な見解を示しています。「共同研究を行うことで、設定した目標に向けデジタルトランスフォーメーションを推進することができました。エボニックは、自らを化学業界におけるデジタル化の先駆者であると位置づけています。

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

IBMとのパートナーシップ、さらにMIT-IBM Watson AI ラボにおける新たな取り組みは、この認識を確かなものとしします。」

エボニックとIBMは、このパートナーシップの一環として、すでにパイロットプロジェクトで人間と機械の間に集合知を生み出す新たな可能性について研究を行っています。この知能を利用すれば、専門家は従来のように苦勞して貴重な情報を探す必要がなくなります。何十年にもわたって蓄積されてきた知識を、簡単に検索し、直感的に分析することができるのです。データ間の新たな関連性も発見できます。化学者は、配合とそれに関連した特性を直感的に調べ比較し、新製品のアイデアを得ることが可能になります。

エボニックとIBMは、新素材の研究をさらに加速させるAIの構築にも成功しました。IBMリサーチとの緊密な協力により、高性能ポリマーの特性や新しい配合を予測するディープニューラルネットワークの開発・学習が行われました。これらの予測は、まるでコンパスのように新製品や顧客ソリューションの有望な方向性を示すことで、研究者の助けとなるでしょう。

エボニック インダストリーズについて

エボニックは、100か国以上で事業を展開するスペシャルティケミカルの世界的リーダーの1つです。2020年度は、122億ユーロの売上、19.1億ユーロの営業利益(調整後EBITDA)を計上しました。

革新的で収益性の高い持続可能なソリューションをお客様に提案するために、私たちは化学のその先を目指します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、33,000人以上の社員が働いています。

アジア・パシフィック・リージョンについて

エボニックは、世界経済を牽引し、イノベーションの宝庫であるアジア・パシフィック・リージョンで更なるビジネスの成長を目指しています。2020年度は、28.7億ユーロの売上を計上し、50以上の製造拠点で5,000人以上の社員が働いています。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AGはこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2021年4月15日にドイツで発表されたものを翻訳しています。)